



## 2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年10月25日

上場会社名 アイカ工業株式会社

上場取引所 東名

コード番号 4206 URL <http://www.aica.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 小野 勇治

問合せ先責任者 (役職名) 財務統括部長 (氏名) 森 要輔

TEL 052-533-3135

四半期報告書提出予定日 2018年11月5日

配当支払開始予定日

2018年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	90,832	16.4	9,670	4.0	10,109	5.4	6,044	5.5
2018年3月期第2四半期	78,012	7.2	9,300	7.3	9,595	9.7	5,726	9.2

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 4,825百万円 (33.3%) 2018年3月期第2四半期 7,236百万円 (268.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	92.58	92.54
2018年3月期第2四半期	87.72	87.67

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	187,387	133,769	66.3
2018年3月期	189,626	132,616	64.7

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 124,292百万円 2018年3月期 122,746百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		42.00		50.00	92.00
2019年3月期		47.00			
2019年3月期(予想)				56.00	103.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	185,000	13.0	20,800	8.9	21,000	7.1	13,400	11.7	205.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	67,590,664 株	2018年3月期	67,590,664 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	2,295,602 株	2018年3月期	2,304,868 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	65,290,298 株	2018年3月期2Q	65,286,579 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2018年11月16日(金)に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、日本国内においては、相次ぐ自然災害の経済への影響に留意する必要があるものの、設備投資の増加や企業業績および雇用環境の改善等により、緩やかな回復基調で推移しました。また、アジア・オセアニア地域の経済は、通商問題の動向が与える影響や為替の変動が懸念されるものの、中国では底堅い景気を維持し、インドネシア・タイ・インド等の地域においては緩やかな回復基調で推移しました。

国内建設市場においては、賃貸住宅の供給過剰感から借家や持家の着工が一服し、住宅着工は減少しました。非住宅関連は、企業の設備投資やインバウンド効果による工場、オフィス、ホテルの新築・改修需要は増加したものの、医療福祉施設や商業施設は落ち込み、着工面積はほぼ横ばいで推移しました。

このような経営環境の下、当社グループは、中期経営計画「C&C2000」の方針に基づき、社会課題の解決に貢献する商品群の拡充、次世代を担う注力分野の育成、アジア・オセアニア地域における接着剤やメラミン化粧板の販売強化などを推進いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高90,832百万円（前年同期比16.4%増）、営業利益9,670百万円（同4.0%増）、経常利益10,109百万円（同5.4%増）となりました。また、「平成30年7月豪雨」による広島工場浸水被害に関わる一時的な特別損失400百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は、6,044百万円（同5.5%増）となりました。

セグメントの業績については次のとおりであります。なお、セグメント間の内部売上は除いております。

#### (化成品セグメント)

接着剤系商品は、国内においては施工用接着剤や産業用フェノール樹脂が好調に推移しましたが、集成材用接着剤が低迷し、売上が前年を下回りました。一方、海外においてはアジア・オセアニア地域における接着剤・産業用樹脂の需要を取り込むことができたことに加えて、当第2四半期連結会計期間より連結業績に組み入れたタイ・ケミカル・コーポレーション社も寄与し、売上を伸ばすことができました。

建設樹脂系商品は、高耐久塗床材「アイカピュール」が好調に推移したものの、新築住宅向けの外装・内装仕上塗材「ジョリパット」や建築・土木用の補修・補強材が低迷し、前年を下回りました。

非建設分野への取り組みとして注力している機能材料事業につきましては、繊維・紙加工用途のアクリル・コンパウンド製品が前年を上回り、電子材料市場の低迷によりUV樹脂が前年を下回った一方、第1四半期連結会計期間より連結業績に組み入れたエバモア・ケミカル・インダストリー社が寄与し、売上を伸ばすことができました。

このような結果、売上高は52,176百万円（前年同期比30.8%増）となりました。営業利益（配賦不能営業費用控除前）は、原材料価格高騰の影響をうけたものの、アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社ののれん償却減の影響もあり、3,641百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

#### (建装建材セグメント)

メラミン化粧板は、国内においては高い意匠性と指紋などの汚れが目立ちにくい特性をもつメラミン化粧板「セルサス」をはじめ、不燃性や耐スクラッチ性、耐薬品性などの機能性を付与した高付加価値品がホテルや商業施設の新築・改修需要を取り込み、売上を伸ばすことができました。また、海外においては、インドネシアやベトナムを中心に売上を伸ばすことができました。

ボード・フィルム類は、加工品を拡充した粘着剤付化粧フィルム「オルティノ」関連商品は好調でしたが、汎用的なポリエステル化粧合板が苦戦し、前年を下回りました。

メラミン不燃化粧材「セラル」は、工場・倉庫や飲食店の新築・改修需要を獲得することができましたが、医療福祉施設や住宅の着工件数減少の影響を受け前年を下回りました。

不燃建材は、アクリル樹脂系塗装けい酸カルシウム板「ルナライト・カラー」が工場・倉庫や教育施設の需要を取り込むなど、アイカテック建材株式会社とのシナジー商品を中心に売上を伸ばすことができました。

カウンター・ポストフォーム商品は、パリエーションを拡充した人工大理石「コーリアン」製の幼児用手洗いカウンターやそれに付随する収納キャビネットが保育施設の新設需要を取り込み、売上を伸ばすことができました。

建具・インテリア建材は、メラミン化粧板の特性を活かした「メラフュージョンシリーズ」は好調でしたが、住宅着工件数減少の影響を受け前年を下回りました。

このような結果、売上高は38,656百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は7,289百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は126,616百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,583百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が1,614百万円、受取手形及び売掛金が2,807百万円減少したことによるものであります。固定資産は60,771百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,344百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が682百万円、投資その他の資産が553百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、187,387百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,239百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は46,049百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,530百万円減少いたしました。これは主に電子記録債務が541百万円、未払法人税等が1,262百万円、流動負債のその他が1,253百万円減少したことによるものであります。固定負債は7,568百万円となり、前連結会計年度末に比べ137百万円増加いたしました。これは主に固定負債のその他が343百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、53,617百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,392百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は133,769百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,153百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益6,044百万円及び剰余金の配当3,264百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は66.3%（前連結会計年度末は64.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績は概ね計画通りに推移しており、2018年4月26日公表の業績予想に変更ありません。今後の景気の動向によって通期の業績見込みについては見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

なお、「平成30年7月豪雨」による広島工場浸水被害に関わる被害及び除去等の費用を当第2四半期連結累計期間の特別損失として計上しております。被害につきましては、損害保険を付保しており、特別利益に計上する予定です。

上記、特別利益及び特別損失の計上に伴う2019年3月期通期業績への影響は軽微であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	49,521	47,907
受取手形及び売掛金	59,259	56,452
商品及び製品	8,550	9,010
仕掛品	1,046	1,047
原材料及び貯蔵品	6,404	7,013
その他	5,608	5,540
貸倒引当金	△189	△355
流動資産合計	130,200	126,616
固定資産		
有形固定資産	38,464	39,146
無形固定資産		
のれん	168	349
その他	2,686	2,615
無形固定資産合計	2,855	2,964
投資その他の資産		
その他	18,125	18,673
貸倒引当金	△17	△12
投資その他の資産合計	18,107	18,660
固定資産合計	59,426	60,771
資産合計	189,626	187,387
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,127	26,002
電子記録債務	6,058	5,516
短期借入金	4,052	3,891
未払法人税等	3,492	2,229
賞与引当金	1,763	1,576
その他	8,086	6,833
流動負債合計	49,579	46,049
固定負債		
長期借入金	777	588
退職給付に係る負債	1,406	1,390
その他	5,246	5,589
固定負債合計	7,430	7,568
負債合計	57,010	53,617
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,279	13,280
利益剰余金	93,756	96,536
自己株式	△2,011	△2,004
株主資本合計	114,917	117,704
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,402	5,595
繰延ヘッジ損益	△4	△2
為替換算調整勘定	2,187	751
退職給付に係る調整累計額	243	243
その他の包括利益累計額合計	7,828	6,587
新株予約権	36	27
非支配株主持分	9,833	9,450
純資産合計	132,616	133,769
負債純資産合計	189,626	187,387

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	78,012	90,832
売上原価	55,401	67,328
売上総利益	22,611	23,504
販売費及び一般管理費	13,310	13,833
営業利益	9,300	9,670
営業外収益		
受取利息	78	99
受取配当金	190	182
その他	336	465
営業外収益合計	605	747
営業外費用		
支払利息	30	58
売上割引	77	83
その他	202	166
営業外費用合計	310	308
経常利益	9,595	10,109
特別損失		
災害による損失	-	400
特別損失合計	-	400
税金等調整前四半期純利益	9,595	9,709
法人税、住民税及び事業税	3,073	2,796
法人税等調整額	191	339
法人税等合計	3,265	3,135
四半期純利益	6,330	6,574
非支配株主に帰属する四半期純利益	603	529
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,726	6,044

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	6,330	6,574
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,166	192
繰延ヘッジ損益	10	1
為替換算調整勘定	△323	△1,926
退職給付に係る調整額	20	0
持分法適用会社に対する持分相当額	32	△16
その他の包括利益合計	906	△1,748
四半期包括利益	7,236	4,825
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,703	4,802
非支配株主に係る四半期包括利益	533	22



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,595	9,709
減価償却費	1,710	2,011
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8	170
賞与引当金の増減額(△は減少)	△215	△176
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	37	17
受取利息及び受取配当金	△269	△281
支払利息	30	58
売上債権の増減額(△は増加)	△317	2,189
たな卸資産の増減額(△は増加)	△405	△1,496
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△818	△205
仕入債務の増減額(△は減少)	1,216	△259
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△178	△1,403
その他	508	20
小計	10,885	10,353
利息及び配当金の受取額	271	279
利息の支払額	△29	△57
法人税等の支払額	△3,427	△3,742
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,700	6,833
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	△1,108
定期預金の払戻による収入	-	813
有形固定資産の取得による支出	△2,055	△3,140
無形固定資産の取得による支出	△84	△370
投資有価証券の取得による支出	△5	△111
投資有価証券の売却による収入	439	232
その他	△120	△347
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,825	△4,031
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	171	28
長期借入金の返済による支出	△94	△154
配当金の支払額	△3,064	△3,258
非支配株主への配当金の支払額	△251	△405
リース債務の返済による支出	△28	△29
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△207
その他	△1	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,267	△4,029
現金及び現金同等物に係る換算差額	△129	△672
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,477	△1,899
現金及び現金同等物の期首残高	47,622	48,896
現金及び現金同等物の四半期末残高	50,099	46,996

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	化成品	建装建材	計		
売上高					
外部顧客への売上高	39,889	38,123	78,012	-	78,012
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,309	-	1,309	△1,309	-
計	41,199	38,123	79,322	△1,309	78,012
セグメント利益	3,375	7,169	10,545	△1,244	9,300

(注)1 セグメント利益の調整額△1,244百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,244百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門(人事、総務、経理部門等)に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	化成品	建装建材	計		
売上高					
外部顧客への売上高	52,176	38,656	90,832		90,832
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,340	-	1,340	△1,340	-
計	53,517	38,656	92,173	△1,340	90,832
セグメント利益	3,641	7,289	10,931	△1,261	9,670

(注)1 セグメント利益の調整額△1,261百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,261百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門(人事、総務、経理部門等)に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

# 2019年3月期第2四半期 決算短信補足資料

挑戦と創造

2018年10月25日

**アイカ工業株式会社**

# 1. 2019年3月期第2四半期 連結決算の概要

	単位	2018/3期 上半期		2019/3期 上半期				
		実績	利益率	計画	実績	利益率	伸率	達成率
売上高	百万円	78,012		88,000	90,832		16.4%	103.2%
営業利益	百万円	9,300	11.9%	9,800	9,670	10.6%	4.0%	98.7%
経常利益	百万円	9,595	12.3%	9,900	10,109	11.1%	5.4%	102.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	百万円	5,726	7.3%	6,300	6,044	6.7%	5.5%	95.9%
1株当たり 四半期純利益	円	87.72	—	96.50	92.58	—	5.5%	95.9%

**売上・営業利益・経常利益** : 9期連続 増収・増益

**四半期純利益※** : 3期連続 増益

**売上** : 6期連続 過去最高を更新

**営業利益・経常利益** : 7期連続 過去最高を更新

**四半期純利益※** : 2期連続 過去最高を更新

## 2. 2019年3月期 連結決算の計画

[単位:百万円]

	2018/3期 実績		2019/3期 計画			
	金額	利益率	金額	利益率	伸率	増加額
売上高	163,726	-	185,000	-	13.0%	21,273
営業利益	19,092	11.7%	20,800	11.2%	8.9%	1,707
経常利益	19,600	12.0%	21,000	11.4%	7.1%	1,399
当期純利益※	11,996	7.3%	13,400	7.2%	11.7%	1,403

※:親会社株主に帰属する当期純利益

期首の通期計画を据え置き

### 3. 2019年3月期第2四半期 セグメント別業績

[単位:百万円]

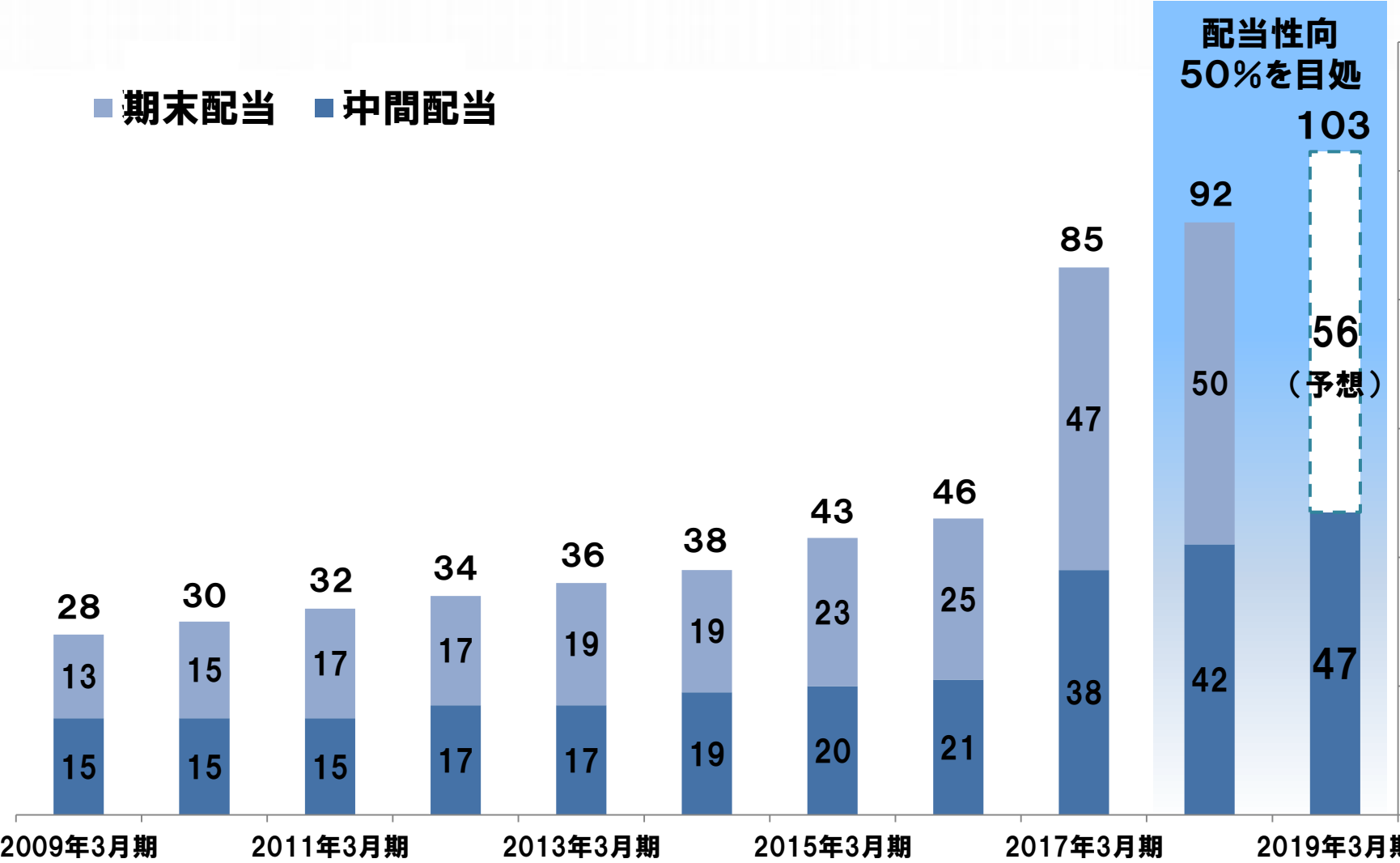
	売上高			営業利益			
	2017/9期	2018/9期		2017/9期	2018/9期		
	実績	実績	伸率	実績	実績	伸率	
化成品	39,889	52,176	30.8%	3,375	3,641	7.9%	金額
				8.5%	7.0%	—	利益率
建装建材	38,123	38,656	1.4%	7,169	7,289	1.7%	金額
				18.8%	18.9%	—	利益率
(配賦不能営業費用→)				▲ 1,244	▲ 1,261	1.4%	金額
合計	78,012	90,832	16.4%	9,300	9,670	4.0%	金額
				11.9%	10.6%	—	利益率

[円]

■ 期末配当 ■ 中間配当

配当性向  
50%を目処

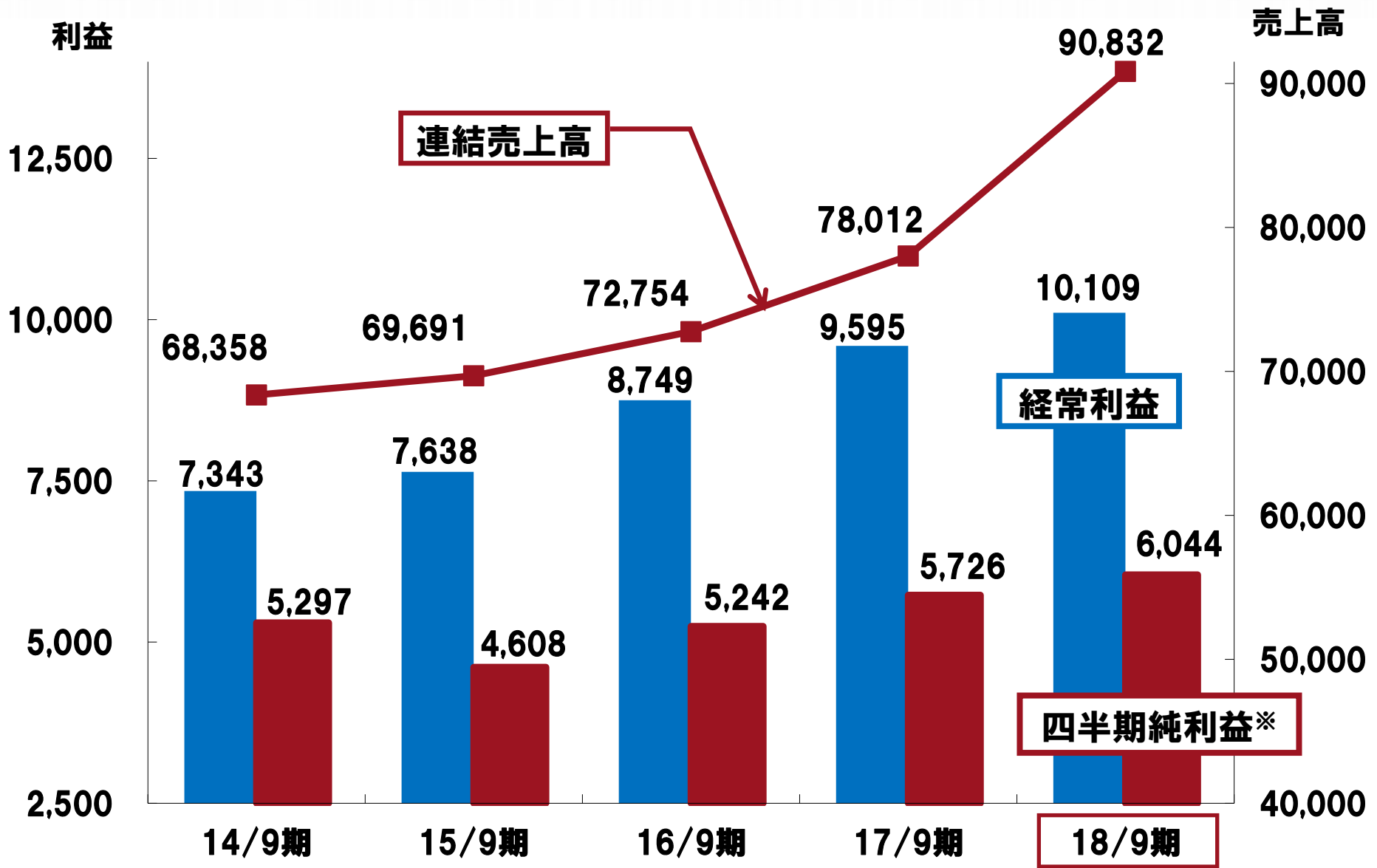
120  
100  
80  
60  
40  
20  
0



※2019/3期の期末配当は、現時点の予想値です。

# 参考資料. 第2四半期 連結決算の推移

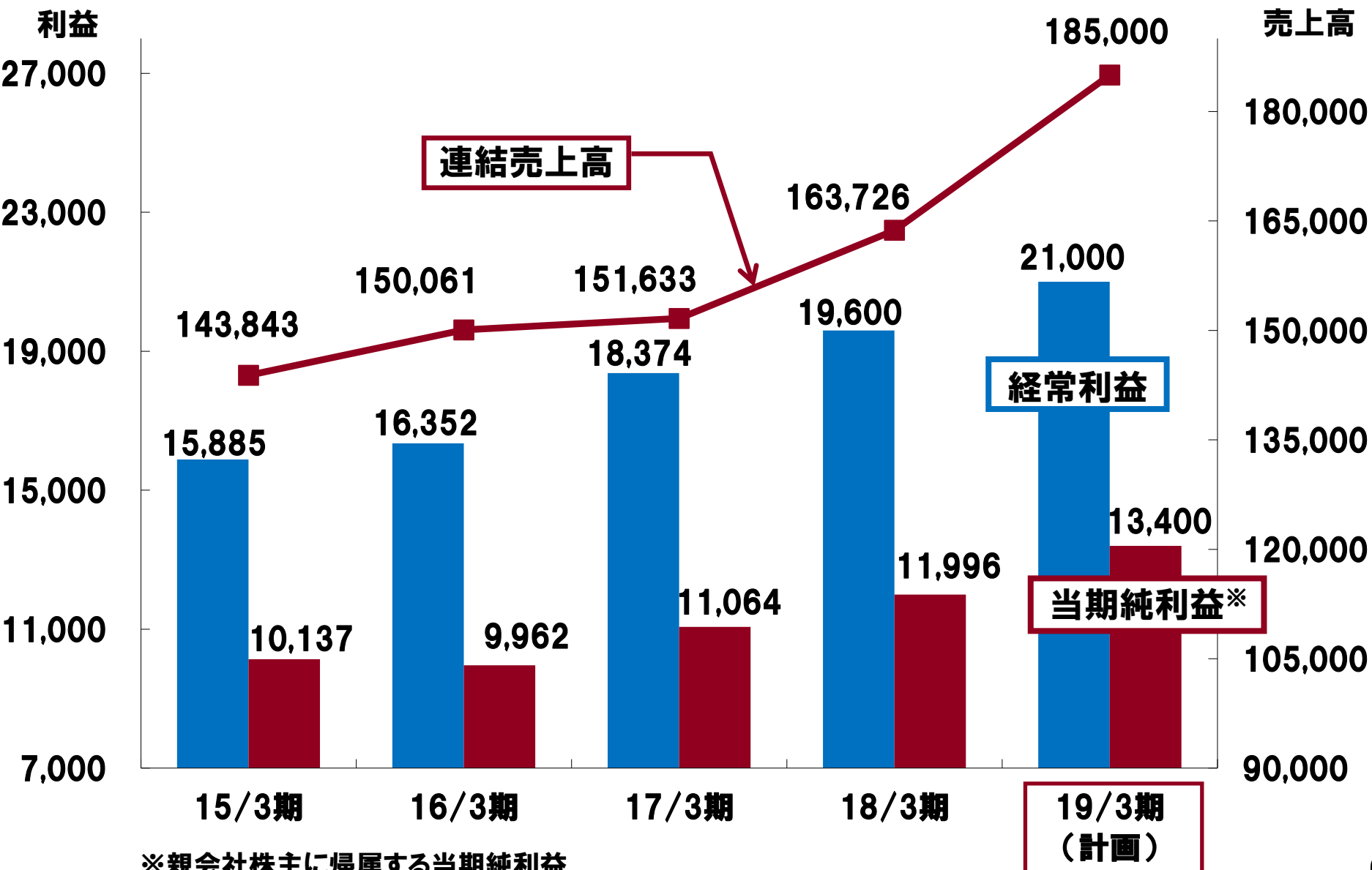
[単位:百万円]





# 参考資料. 連結決算の推移と計画

[単位:百万円]



	2018/3期		2019/3期			
	上半期	通期	上半期計画	上半期実績	伸率	達成率
接着剤	258.2億円	539.7億円	290.0億円	307.0億円	18.9%	105.9%
AAP	191.2億円	405.6億円	221.5億円	240.9億円	25.9%	108.8%
建設樹脂	46.8億円	95.2億円	47.8億円	46.4億円	▲1.0%	97.1%
機能材料	48.8億円	98.0億円	98.0億円	115.8億円	137.2%	118.2%
その他	44.8億円	96.1億円	45.7億円	52.4億円	16.8%	114.7%
合計	398.9億円	829.1億円	481.5億円	521.7億円	30.8%	108.4%

※AAP:アイカ・アジア・パシフィック

	2018/3期		2019/3期			
	上半期	通期	上半期計画	上半期実績	伸率	達成率
メラミン化粧板	77.0億円	166.3億円	82.0億円	80.6億円	4.6%	98.3%
ボード フィルム等	65.4億円	143.4億円	68.0億円	64.9億円	▲0.7%	95.6%
セラール	92.4億円	191.8億円	94.0億円	91.6億円	▲0.8%	97.5%
不燃建材	43.6億円	92.5億円	48.5億円	46.7億円	7.1%	96.4%
カウンター ポストフォーム	74.7億円	156.3億円	78.0億円	76.2億円	2.0%	97.8%
建具 インテリア建材	27.8億円	57.6億円	28.0億円	26.2億円	▲5.8%	93.8%
合計	381.2億円	808.1億円	398.5億円	386.5億円	1.4%	97.0%



# C&C2000

## CHALLENGE & CREATION

本資料に掲載されているアイカ工業株式会社の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。

これらの情報は、現在入手可能な情報からアイカ工業株式会社の経営者の判断に基づいて作成されております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみ全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。